

8月31日(水) 定例記者会見 質疑応答要旨

水産業事業継続給付金

(記者)

給付基本額50万円に対して、追加して施設費等の支出状況に応じた加算があるということですが、施設費等というのは、どのような経費が該当するのでしょうか。

(市長)

加算額については、8漁協の全てが支出している「保守修繕費」「保険料」「水道光熱費」の3か年平均額や、職員数を基に算定することとしており、給付基本額とあわせて1漁協あたりの給付上限額は300万円としております。

8漁協のうち、上限300万円の給付を予定しているものが4漁協、200万円台が2漁協、100万円台が2漁協となる見込みです。

(記者)

100万円台と見込まれる漁協のうち、一番少ない給付額でいくらぐらいになるのでしょうか。

(市長)

約120万円前後の金額になると見込まれます。

鳴門市四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援補助金

(記者)

「交流拠点施設(ゲート)」の運営事業者の対象となる交流拠点施設と、その運営事業者を教えてください。

(市長)

ゲートは東西南北にあるそれぞれの施設になります。南のゲートが「くるくる なる」と(運営事業者:株式会社TTC)、西のゲートがドイツ館の隣にある「第九の里」(運営事業者:一般社団法人 鳴門市うずしお観光協会)、北のゲートが「JF北灘さかな市」(運営事業者:北灘漁業協同組合)となります。

今回は、北と西の2ヶ所の施設に補助をしていこうと思っています。また、東のゲートは構想段階であります。

(記者)

「くるくる なると」の運営事業者は、今回の補正の対象ではないということでしょうか。

(市長)

今回の補助額の積算においては、対象に含んでいません。

それぞれの施設において、これから事業がありますので、連携はしていきますが、今回計上した550万円は北と西の2ヶ所の施設での事業を想定したものです。

(記者)

今回、東はこれから構想ということですが、施設の存在する南のゲート(くるくる なると)を対象から外されたのは何か理由があるのでしょうか。

(市長)

「くるくる なると」については、建設にあたり投資をしていますが、その他のゲートには同じような形で投資ができていませんでした。

運営事業者と話をする中で、交流拠点として「こういう事業をやりたい」と提案がございましたので、これに対して補助制度として対応していこうという考えとなりました。

道の駅「くるくるなると」駐車場用地購入

(記者)

予定されている場所と広さを教えてください。

(市長)

JA大津松茂の産直市「えがお」とコンビニの間に2筆ある土地で、面積は合計で約3,330㎡となります。

(記者)

これで車何台分を確保できる計算でしょうか。

(市長)

大体60台ぐらいと思っています。

(記者)

民有地ということですが、所有者は一般の個人の方でしょうか。また、現在、「くるくる なる」とには車を何台程度置けるのでしょうか。

(市長)

現在、市の施設では、国土交通省の駐車場と併せて約130台程度、JA大津松茂の産直市「えがお」の駐車場が約40台程度となっています。また、今回、整備を予定している駐車場が60台程度になります。

民間の地権者にご協力をいただけたらという話で、予算の計上を行い、これから交渉させていただこうと思っております。

(記者)

「えがお」の隣はコンビニですよね。そこに用地があるのでは

うか。駐車場が少なめのため、国道までずっと渋滞しています。

(市長)

間に畑がありますので、見ていただけたらわかると思います。

今、国道11号線の東側に臨時駐車場を50～70台確保させていただいています。その分が今回の用地購入で確保できたらと思っております。

(記者)

あくまで臨時駐車場ということでしょうか。

(市長)

今、国道11号線の東側にあるのは臨時駐車場ですが、今回の用地購入で施設の駐車場として60台程確保できれば、渋滞緩和やサービス向上にも繋がると思っております。

鳴門市奨学金支給制度について

(記者)

今回拡大された対象の世帯、もしくは人数を教えてください。

(市長)

現行制度では、ここ数年10人程度が対象でしたが、今回の拡充により60人程度まで拡がるかと思えます。

新制度におきましては、生活保護世帯の対象と生活保護法の規定による保護を受けている世帯に準ずる程度に困窮している世帯という要件にしておりまして、就学援助を受給できる世帯まで拡げさせていただいたということになります。

統一教会について

(記者)

他の報道機関の報道で、旧統一教会の関連団体の行事に参加されていたという報道があり、どのような行事にどの期間、どのような経緯で参加をされていたのか、今一度市長からご説明をいただけますでしょうか。

(市長)

徳島新聞からの調査、朝日新聞からも取材を受けました。8月8日に徳島新聞から、旧統一教会・関連団体の行事に参加したか支援を受けたかなどのアンケート調査がありました。当時の認識では、(行事に)参加していないと思っておりましたので、8月12日締切の回答で、ないという形で報告しようと思っておりました。そうしましたら、8月11日の毎日新聞で香川県庁が自転車イベントの後援を取り消したとの記事がありました。このイベントは何だったのかとなったときに、これからお話しするピースロード(イベント)であり、この自転車イベントが(旧統一教会の)関連団体が主催しているものだと気づき、調べましたところ、2019年、2020年、2021年と3年間出席をしています。内容は、ポートレース鳴門にサイクリングステーションがあり、ウズパークを発着地点とした自転車イベントであり、3年続けました。式典のスタートやゴールの挨拶に行かせていただきました。内容は、世界平和、韓国との国際交流、サイクリングでした。当時からサイクリングステーションを作っているように、鳴門市全体でサイクリングの施策を進めていこうと考えていることもあ

り、挨拶しても大丈夫であろうと行ったところです。関係団体、それに携わる背景をそこまで調べきれてなかったということは非常に反省をしているところでございます。主催者側から、文章と口頭で連絡があったかなと記憶しております。あとは支援や後援会活動などは一切何もありません。

(記者)

文章と口頭で主催者側から依頼があったとのことですが、当時は主催者が旧統一教会の関連団体という認識はされていたのでしょうか。

(市長)

全くないです。先ほども申し上げた通り、8月11日の毎日新聞の記事を見て、サイクリングイベントが旧統一教会の関連団体と初めて知ったところです。そこで調査を怠っていたかなと思っています。

(記者)

今、旧統一教会と政治家との関係が多く報道されている状況を踏まえて、反省されているとおっしゃっていましたが、当時の出席に関してどのように今振り返っていらっしゃいますか。

(市長)

挨拶としては、「スタートするので頑張ってください」「ゴールの時はお疲れ様」と、話した内容としては、「鳴門市は今サイクリングを進めていますので、ぜひまた鳴門にサイクリングに来てください。」程度の話です。宗教やそれにまつわる話などはしていません。ただただ反省するのは、(旧統一教会の)関連が背景にあったかということの調査が足りていなかったと思うところです。

(記者)

今後はどのようにしていくのでしょうか。

(市長)

アンケートでお答えした通り、関係はそれだけです。政治活動や後援会活動、選挙活動などにご支援はしていただいておりますので、当然そういう団体とはお付き合いはしないというところですよ。

(記者)

今後は挨拶などもされないということですか。

(市長)

そうですね。イベントもしていかないといけないので、しっかりと背景を調べさせていただいたり、聞いたりして、鳴門市のリーダーとして、もうひとつは市民皆様の最大のサポーターとしていろいろとご協力をしたと思います。やはり身近な存在でいたい。だから、お話しがあれば行きたい、直接自分の言葉で話もしたい、行くことによっていろんなコミュニケーションが取れるので、そのスタンスは続けたいと思います。ただ言われるようにどういう主催なのかどうかを今以上に、しっかり調べてから答え

を出していこうかなと思っております。

(記者)

このイベントは、市の後援ではなかったのでしょうか。

(市長)

ないです。

(記者)

ただ単に主催者が挨拶にきてくださいと言われていって挨拶をしたということですね。

(市長)

そうです。サイクリングイベントでボートレース場にサイクリングステーションを作っています。それも利用していただきたい。イベントするにはすごくいい場所で、駐車場はあるし、サイクリングステーションはあるし、人が集まりやすいし、分かりやすい、だから属人的に自分にという訳でなく、ただその市長に依頼した

だけかなど。他の市町村にスタート&ゴールがあれば、その市町村長も行っているかもしれない。ただ私の場合は、そこまで調べきれていなかったとのことで反省しています。